

令和5年 年頭のご挨拶

理事長 平野 将告

明けましておめでとうございます。新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。  
皆様におかれましては、新たな気持ちで清々しい新年をお迎えのことと存じます。

今年の干支は「癸卯(みずのとう)＝寒気が緩み萌芽を促す年」とのことです。未だ油断できないコロナ禍が続いておりますが、段々と世間の価値観がウィズコロナの方向へと進んでいるように感じます。岐車協においてもコロナ禍以降は活動の制限を余儀なくされておりましたが、昨年は情報伝達のデジタル化および感染予防対策を充分に行った上でのニューノーマルな活動を中心に歩みを進めた1年でした。停滞していた世の中に希望が芽吹いて花開くという意味を持つ本年が、これまで培い暖めてきた「岐車協の力」が開花し発揮される年となるよう、芽吹き力強さのごとく共に団結して取り組んで参りたい所存です。

さて、昨年5月から9月にかけて車体整備士養成講習を8年ぶりに開講し、国家試験の結果29人の新たな車体整備士が組合員の中から誕生しました。特定整備認証制度施行をきっかけに車体整備士があらためて注目され、コロナ禍による2年延期を経ての念願の開講でした。心配された感染クラスターを出すこともなく無事修了できたことも併せてご報告いたします。合格者の皆様には、国家資格保持者として自信と誇りを持ち技術を磨き続けていただくとともに、特定整備認証の取得を早期に進めていただきますようお願いいたします。また、養成講習は各方面の多くの方々のご協力によって実現いたしました。ご尽力いただきました整備振興会教育部の皆様、中日本自動車短大の先生方、忙しい仕事の手を止めて実習の講師を務めていただいた組合員の方々に、この場を借りてあらためて深く感謝申し上げます。

ところで、岐車協のデジタル化事業である「webサイト」「LINE」はご活用いただいておりますでしょうか。自然環境への配慮等による近年著しいデジタル社会への移行に沿う目的もありますが、岐車協としては「最新の情報提供と共有」「情報伝達のスピード感」「組合員同士の距離を縮める」点を大切にしたいという思いからデジタル化を推進しています。「webサイト」においては、従来岐車協だより等の紙媒体で提供していた情報の掲載に加えて事務局が各方面にアンテナを張り、皆様の事業所運営や技術のアップデートに役立つ耳寄りな情報をアップしております。トップページの新着情報を定期的にチェックしていただき新鮮な情報を収集し活用いただければ幸いです。また、「LINE」での情報共有も現在登録者数が110人を超え、各事業委員会からの案内を中心に発信を行っています。これらのツールにより組合運営の効率化や皆様との触れ合いをさらに深めていきますので、閲覧方法等に関してご不明な点がございましたら事務局へお問い合わせください。

そして、各委員会からの企画もニューノーマルの中で出来ることから順次展開しております。皆様の意見や提案に耳を傾けながら、各事業の運営をさらに実り豊かなものにしていけたらと考えています。

コロナ禍や車両の高度化に加えて、昨今の世界情勢不安による物価高騰等も重くのしかかり悩み多き時代です。そんな時代だからこそ、今後さらに岐車協に属するスケールメリットを実感いただけることと思います。志を共にする組合員同士で寄り添い支え合いながら、車体整備業界の成長の芽を力強く開花させていきましょう。

本年も当組合員・賛助会員の皆様にとって良き一年でありますよう心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。